

授業科目(ナンバリング)	英語学 (CD212)			担当教員	新藤 照夫		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な英語学の知識を学ぶことで、表面的な英語に関する理解だけでなく、文化的背景も理解し、その知識を活かして、異文化交流への発展を目指す。</li> <li>英語学の分野の中でも英語史・音声学・音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論・社会言語学・英語教育の9つの英語学の研究分野を中心に学び、それらの知識を活かし、中学生、高校生にも英語の構造全般について分かりやすく説明できるようになることを目指す。</li> <li>英語を言語学的視点から学ぶことにより、「ことば」を様々な観点から分析的にみる力を養う。</li> </ul>							①②⑩⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	・英語学の基本的な理論や専門用語を理解し、キーワードや具体例を挙げて簡潔に説明できる。				・定期試験	50%	
情報収集、分析力	・様々な事例を探し、「ことば」を様々な観点から分析する方法を探ることができる。				・授業参加度	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	・英語の歴史の変遷および国際共通語としての英語の多様性の実態について具体例を挙げて簡潔に説明することができる。				・課題	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の学習状況や参加度合を評価する。(毎時間、受講者の発表とリフレクションの提出を求める) 30%</li> <li>課題(ポートフォリオにて4回)を課し、その内容を評価する。20%</li> <li>課題に対して、ポートフォリオおよび授業時にフィードバックを行う。</li> <li>定期試験にて英語学のキーワードの知識・理解および学校文法の知識・理解について評価する。50%</li> </ul>							
授業の概要							
<p>この授業は、英語の教員免許状取得希望学生のための選択必修科目であるが、教職課程を履修していない学生も履修することができる。英語を指導する立場だけでなく、英語を深く学修したいと希望している学生に対しても、有益な理論的知識の体系を築いていくことができる授業である。英語学の各分野の中で主要な9つの分野を概観し、英語の輪郭や背景に関する知識を深める。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『はじめての英語学』 長谷川瑞穂 編著 (研究社)</p> <p>参考書：『英語学を学ぼう—英語学の知見を英語学習に活かす—』 高橋勝忠 著 (開拓社)</p> <p>『映画で学ぶ英語学』 倉田誠 著 (くろしお出版)</p> <p>指定図書：『はじめての英語学』 長谷川瑞穂 編著 (研究社)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業では、遅刻、無断欠席、途中退室などない積極的な参加を強く求めていく。</li> <li>授業前には必ず教科書や配付資料の予習を行い、授業後には各回の重要事項やキーワードを復習すること。</li> <li>ペアワークやグループディスカッションには積極的に参加すること。</li> </ul>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の進め方・評価方法の説明</li> <li>・英語学への導入（各分野の概観、ことばの起源と語族、人間のことばと言語研究）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：シラバスの確認、第1章と第2章</li> <li>・復習：リフレクション①の提出</li> </ul>
2	英語の歴史①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の発音とスペリング（文字の起源と音の変遷）</li> <li>・英語の語彙の多様性（語彙の歴史的発展）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：3章と4章</li> <li>・復習：リフレクション②の提出</li> </ul>
3	英語の歴史②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準英語の成立（起源と変遷過程）</li> <li>・英語のバリエーション（多様な英語）</li> <li>・ことばの変化（歴史的変化とのその要因）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：5章、6章、7章</li> <li>・復習：リフレクション③の提出</li> </ul>
4	音声学	ことばと音声（発声器官と言語音の分類）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：8章</li> <li>・復習：リフレクション④の提出、課題①の解答</li> </ul>
5	音韻論	音の組み合わせとアクセント（音素、音節、音変化、アクセント、リズム）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：9章</li> <li>・復習：リフレクション⑤の提出</li> </ul>
6	形態論	単語ができるしくみ（単語の恣意性、形態論と形態素、語形成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：10章</li> <li>・復習：リフレクション⑥の提出</li> </ul>
7	統語論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文ができるしくみ（単語から文へ、文法研究の歴史、統語構造）</li> <li>・文の内部構造（句構造、単文・補文の構造）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：11章と12章</li> <li>・復習：リフレクション⑦の提出</li> </ul>
8	意味論①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの意味とは何だろう</li> <li>・語の間の意味関係</li> <li>・意味の拡張（メタファー・メトニミー）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：13章、14章、15章</li> <li>・復習：リフレクション⑧の提出、課題②の解答</li> </ul>
9	意味論②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの意味に見られる主観性</li> <li>・ことばの意味とコンテクスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：16章と17章</li> <li>・復習：リフレクション⑨の提出</li> </ul>
10	談話分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある文章（結束性）</li> <li>・文章中の情報構造（新情報・旧情報）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：18章と19章</li> <li>・復習：リフレクション⑩の提出</li> </ul>
11	語用論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばのやりとりにおけるルール（語用論とは、協調の原理、会話の含意）</li> <li>・コミュニケーションの民俗誌（Hymesの理論）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：20章と21章</li> <li>・復習：リフレクション⑪の提出</li> </ul>
12	言語と文化	英語と文化（「ことばに信頼を置く文化」と「言わぬが花の文化」、サピア=ウォーフの仮説、対照修辞学）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：22章</li> <li>・復習：リフレクション⑫の提出、課題③の解答</li> </ul>
13	社会言語学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばと社会（社会言語学とは、ことばの変種、AAVE、ピジンとクリオール、PC）</li> <li>・ことばと国家（イギリス、アメリカ、カナダなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：23章と24章</li> <li>・復習：リフレクション⑬の提出</li> </ul>
14	日本の英語教育と教授法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の英語教育と教授法（日本の英語教育の歩み、日本での教授法のいろいろ）</li> <li>・第二言語習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：25章</li> <li>・復習：リフレクション⑭の提出</li> </ul>
15	総復習	専門用語と理論の総復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：全章の復習</li> <li>・復習：リフレクション⑮の提出、課題④の解答</li> </ul>
16	定期試験	英語学の基本的な理論や専門用語を問う筆記試験	筆記試験の準備